

地形測量及び 写真測量技術講習会に参加して

株式会社タナカコンサルタント 多田篤史

公共測量「作業規程の準則」が平成20年3月31日に改正され、昨年度、改正の概要について、技術講習会が実施されました。今年度、『公共測量「作業規程の準則」の解説と運用』を基に、より詳しく踏み込んだ内容と言うことで、地理情報標準の基礎、製品仕様書、品質評価表、メタデータの作成等、実業務に役立てより良い成果品を作るため、この技術講習会に参加しました。

私はこの測量業界に10数年従事しています。測量技術の進歩は著しく、新技術は次から次へと出てきています。精度の高い技術が求められる私たちの業務は、今回の様な技術講習会はとても有意義であり、日々技術の向上や作業の効率化を図ることに役立てる事ができました。

昨年度の講習会は参加できませんでしたが、「作業規程の準則」の改正点も講義して頂きま

した。

また、地理情報標準の基礎知識、製品仕様書、測量の正確さの確保をするための品質評価表、測量成果を説明するメタデータ等、目的及び作成方法を学びました。

また、セミ・ダイナミック補正導入について、「現在の測量成果（測地成果2000）は1997年1月1日の位置を基に測量を実施されてきたが、年々蓄積されてきた地殻変動による歪みを取り除くため補正を行うものである。」と説明して頂き納得が이었습니다。

福島先生の講義内容は、経験の少ない私にも大変分かりやすく理解ができました。お忙しい中、このような講習会を企画、開催して頂きありがとうございました。皆様も、自分の技術向上の為に、技術講習会に参加してみてもはいかがでしょうか。





応用測量



測量士セミナー受講体験記

過去問でエレガント

北海道森林管理局 空知森林管理所

私の職場では研修の一環で測量士・士補の資格試験の補助制度があり、日頃何気なく利用している地図やGPSについて理解が深まればと思います、この制度の利用を申請しました。

早速、本屋に教材を探しに行きましたが、測量士の教材は皆無で勉強方法が定まらず、途方にくれている中、日本測量協会のテキストと過去問集に出会いました。正直最初は、その分厚さになえましたが、今では唯一、そして最高の教材になりました。

試験をパスするには過去問を解くことが最速だと思います。試験問題の7割が過去問の類題で、合格点が65点だとすると、これらの類題を100%解ければ、試験をパスできると私は考えます。新聞を正答するのは、試験をパスするより難しいと思います。

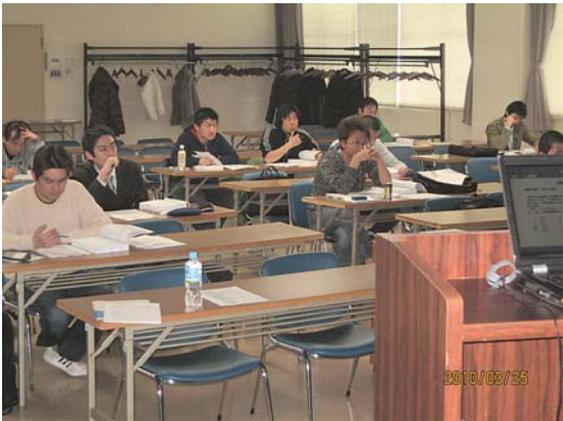
私は過去5年間の過去問を5回位解きました。1回目は3ヶ月以上かかりましたが、5回目になると2週間でこなせるようになります。過去問

を見た瞬間答えが分かるまで繰り返すと、自分で変形した問題を想像し、試験問題をイメージできるようになると思います。

また、(社)日本測量協会によるセミナーにも参加しました。講師の方に質問できる機会が何よりも心強く感じました。教材も少なく、専門的な数学が基礎にある資格なので、分からないところが、そのままになるのではないかという不安があり、無駄に深く理解しようとして時間を浪費します。講師の方に、そこはこのように覚えておけばよいと言われるほど救われることはありません。

私も、標準偏差は苦手ですが、分かっている計算問題をスラスラとエレガントに解くのは好きです。過去問を何回も解くとエレガントになってきますので、是非過去問をしっかりとやってエレガントな試験になりますよう、参考になれば幸いです。

測量士セミナー



測量士補セミナー

